

講座名	「国語科課題改善授業実践講座」		
講師	相澤秀夫（宮城教育大学教職大学院教授）		
期 日	平成23年9月7日（水）	時 間	14：20～16：45
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小37 中50 所員4 計91
内 容	<p>◇公開授業 14：20～15：10</p> <p>「走れ」 村中李衣 文 渡辺雄一 絵</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参観している先生方は、子どもたちのノートから子どもたち自身が考えたことや感じたことを読み取り、声かけをしながら机間指導の大切さを学びました。</li> <li>・ 子どもの考え（声）をつないでいく授業を見せて頂きました。</li> </ul> <p>◇講 演 「国語科授業改善のポイント」</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教育とは」「授業とは」「学ぶとは」「なぜ発表させるのか」・・・</li> <li>・ ワークシートの光と影 → ノート活用を重視する授業構築</li> <li>・ 指導者は子どもの考えを読み取り、指名発表による授業の組み立てができる力を付ける</li> <li>・ 子どもに読む力を身につけさせる → 指導者が読みの技術を身につける・・・</li> </ul>		
感想 質 問	<p>小 教師の机間指導で、子どもの言葉をメモをとりながらまわる。よいと思った内容はアナウンスをし読み上げ、書けない子へのアドバイスをする。といったことが大変勉強になった。普段手が挙がった子どもたちばかりを指名していたことを反省しました。</p> <p>小 教材を何回も読ませていることにハッとさせられました。国語なのに十分音読もさせないで考えを書こうと働きかけている。…明日からすぐ改善します。</p> <p>小 子ども中心の授業が始めから終わりまでずっと続けられていたことや先生の子どもへの声かけなどたくさんのが勉強になりました。子どもの可能性を引き出してあげることは難しいですが、それを学ぶことができる研修でした。</p> <p>中 授業を参観して「読みひたる」ということを実感しました。読んで・考えて、またさらに読むことで読みを深めることができていくことが重要だと感じました。</p> <p>中 今日相澤先生の授業・講話等で日々の授業実践で悩んでいたことへの強力な助言となりました。「意図的指名」や「求める挙手」、一人一人が活かされている授業づくりを目指して明日から頑張る授業実践に取り組んでいきます。</p> <p>中 優劣の差のない、どの生徒も学びが持続する授業のモデルを拝見させていただきました。これまで3回相澤先生のご講演を拝聴いたしましたが、実践を見ることでさらにイメージがわきました。明日からの実践に活かしていきたいと思えます。</p>		